



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 菱電商事株式会社
コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 正垣 信雄

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 宇野 悟

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	155,136	△5.2	1,423	△38.2	1,202	△48.4	766	△33.3
28年3月期第3四半期	163,627	△4.2	2,304	△37.7	2,329	△46.3	1,149	△59.2

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 27百万円 (△97.3%) 28年3月期第3四半期 1,011百万円 (△72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	17.67	17.63
28年3月期第3四半期	26.52	26.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	119,010	59,429	49.9	1,368.96
28年3月期	119,382	60,401	50.5	1,392.47

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 59,358百万円 28年3月期 60,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年3月期	—	11.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	214,000	△3.6	2,100	△42.8	1,800	△45.4	1,200	△35.0	27.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	45,649,955 株	28年3月期	45,649,955 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	2,289,507 株	28年3月期	2,311,234 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	43,354,666 株	28年3月期3Q	43,342,814 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では今後の景気拡大への期待からドル高・株高が進行し成長が持続している一方で、中国などの新興国経済の伸び悩みや米国の政策及び欧州政治の動向などにより先行き不透明を強めています。

国内経済においては、円安に転じたことにより輸出関連企業を中心に収益の回復が見られましたが、設備投資は依然として様子見姿勢が強い状況にあります。

当社グループの取引に関する業界は、産業機器関連、省エネルギー関連、加えて設備関連が持ち直しの動きを見せ、また、自動車関連での米国・国内向けは堅調でしたが、中国・アセアン・欧州向けでは低調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、事業環境の変化に適応した「グローバル・ソリューション・プロバイダー」として事業強化を進める中、顧客に徹底的に寄り添い、顧客ニーズを基点とした価値を創造し、顧客や市場における当社グループの存在価値を高め、収益性の向上を図るため、今年度を始期とした新中期経営計画「C E 2018 (Challenge & Evolution 2018)」をスタートさせています。

また、第2四半期連結累計期間で大きく低迷した業績もグループの総力を挙げた事業活動の加速や販売管理費の抑制策の実施などにより持ち直しを見せています。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,551億36百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益14億23百万円(前年同期比38.2%減)、経常利益12億2百万円(前年同期比48.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億66百万円(前年同期比33.3%減)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、PT. RYOSHO TECHNO INDONESIAを連結の範囲に含めております。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① F A システム

【当第3四半期連結売上高282億94百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益6億78百万円(前年同期比2.2%増)】

自動車関連設備案件が増加傾向となり、また半導体・液晶関連製造装置が堅調に推移しましたが、当社主力市場の工作機械関連及び実装機の生産が減少し、減収となりました。

② 冷熱システム

【当第3四半期連結売上高178億29百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益2億10百万円(前年同期比20.2%増)】

大都市を中心とした大手設備業者向け案件が後半に入り回復基調となり、また環境性能・省エネ性能対応のリプレース需要及び冷凍・冷蔵の低温分野が堅調に推移し、増収となりました。

③ I T 施設システム

【当第3四半期連結売上高55億15百万円(前年同期比30.9%増)、

営業利益50百万円(前年同四半期は営業損失91百万円)】

ビルシステムでは、基幹商品であるエレベーター関連は低調でしたが、情報通信分野ではIT関連やセキュリティ関連が好調に推移、メディカル分野ではヘルスケア関連の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。

④ エレクトロニクス

【当第3四半期連結売上高1,034億97百万円(前年同期比7.8%減)、営業利益4億85百万円(前年同期比69.0%減)】

国内では、前半熊本地震による一部製品の供給の減少の影響もありましたが、自動車関連は欧米・国内向け生産が堅調に推移、産業機器関連は東アジア向けFA関連ビジネスが堅調に推移し、横這いとなりました。

海外子会社では、北米地域での自動車関連製品の販売が堅調に推移しましたが、中国・アセアン・欧州地域での販売が振るわず、またアジア地域でのOA機器関連向け電子部品の販売が低調に推移したため、大幅な減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が46億95百万円、電子記録債権が26億8百万円増加しましたが、商品及び製品が34億7百万円、受取手形及び売掛金が25億3百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比3億72百万円減少し、1,190億10百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が18億37百万円、短期借入金が9億10百万円減少しましたが、電子記録債務が36億54百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比5億99百万円増加し、595億80百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を27百万円、配当金を10億40百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比9億71百万円減少し、594億29百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比0.6ポイント減少し、49.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比51億96百万円増加し、218億56百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動から得られた資金は、69億11百万円（前年同期比6億22百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億19百万円の計上と、売上債権及び仕入債務の増加並びにたな卸資産の減少によるネット資金の増加52億80百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動から得られた資金は、7億98百万円（前年同期比11億73百万円収入増）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入9億53百万円、有形・無形固定資産の取得支出3億0百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、15億89百万円（前年同期比28百万円支出減）となりました。これは主に、配当金の支払10億13百万円、短期借入金の減少5億73百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年9月26日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,665	21,361
受取手形及び売掛金	54,853	52,349
電子記録債権	6,242	8,850
有価証券	853	500
商品及び製品	20,510	17,103
短期貸付金	241	58
その他	4,852	3,219
貸倒引当金	△244	△16
流動資産合計	103,975	103,426
固定資産		
有形固定資産	5,088	4,931
無形固定資産	669	637
投資その他の資産		
その他	9,702	10,344
貸倒引当金	△53	△328
投資その他の資産合計	9,648	10,015
固定資産合計	15,407	15,584
資産合計	119,382	119,010
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,088	37,250
電子記録債務	7,897	11,551
短期借入金	2,083	1,172
未払法人税等	736	59
その他	3,341	3,734
流動負債合計	53,146	53,768
固定負債		
退職給付に係る負債	4,610	4,646
その他	1,224	1,165
固定負債合計	5,834	5,812
負債合計	58,981	59,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,380	7,388
利益剰余金	42,348	42,083
自己株式	△864	△858
株主資本合計	59,199	58,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,368	1,926
為替換算調整勘定	1,141	△254
退職給付に係る調整累計額	△1,360	△1,261
その他の包括利益累計額合計	1,148	410
新株予約権	53	70
純資産合計	60,401	59,429
負債純資産合計	119,382	119,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	163,627	155,136
売上原価	146,633	139,555
売上総利益	16,994	15,581
販売費及び一般管理費	14,690	14,157
営業利益	2,304	1,423
営業外収益		
受取利息	63	35
受取配当金	131	105
持分法による投資利益	62	37
その他	83	194
営業外収益合計	340	373
営業外費用		
支払利息	33	29
売上割引	64	75
為替差損	14	402
売上債権売却損	44	30
その他	158	57
営業外費用合計	315	594
経常利益	2,329	1,202
特別利益		
投資有価証券売却益	62	73
特別利益合計	62	73
特別損失		
関係会社株式評価損	177	56
特別損失合計	177	56
税金等調整前四半期純利益	2,214	1,219
法人税等	1,064	453
四半期純利益	1,149	766
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,149	766

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,149	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	558
為替換算調整勘定	△231	△1,396
退職給付に係る調整額	4	99
その他の包括利益合計	△138	△738
四半期包括利益	1,011	27
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	27
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,214	1,219
減価償却費	381	412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	129	7
受取利息及び受取配当金	△194	△141
支払利息	33	29
持分法による投資損益(△は益)	△62	△37
投資有価証券売却損益(△は益)	△62	△73
関係会社株式評価損	177	56
売上債権の増減額(△は増加)	4,225	△449
たな卸資産の増減額(△は増加)	269	2,693
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,827	3,036
その他	2,935	1,258
小計	7,220	8,012
利息及び配当金の受取額	200	167
利息の支払額	△32	△27
法人税等の支払額	△1,100	△1,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,289	6,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200	953
有形固定資産の取得による支出	△512	△186
有形固定資産の売却による収入	165	1
無形固定資産の取得による支出	△175	△113
投資有価証券の取得による支出	△784	△511
投資有価証券の売却による収入	953	601
短期貸付金の増減額(△は増加)	△270	△58
その他	46	112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375	798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△583	△573
自己株式の純増減額(△は増加)	△5	△2
配当金の支払額	△1,028	△1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△1,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△160	△936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,135	5,183
現金及び現金同等物の期首残高	15,413	16,660
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,548	21,856

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱 システム	IT施設 システム	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,947	17,161	4,214	112,303	163,627	0	163,627	—	163,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	—	0	16	16	△16	—
計	29,947	17,161	4,214	112,303	163,628	16	163,644	△16	163,627
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	663	174	△91	1,567	2,314	2	2,316	△12	2,304

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱 システム	IT施設 システム	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,294	17,829	5,515	103,497	155,136	—	155,136	—	155,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	0	—	0	△0	—
計	28,295	17,829	5,515	103,497	155,137	—	155,137	△0	155,136
セグメント利益(営業利益)	678	210	50	485	1,423	—	1,423	—	1,423

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更を契機に報告セグメントの見直しを行い、従来の「FA・環境システム」及び「エレクトロニクス」の2区分から、「FAシステム」、「冷熱システム」、「IT施設システム」及び「エレクトロニクス」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(74.7%) 122,203	(12.0%) 19,645	(8.2%) 13,360	(2.3%) 3,835	(2.8%) 4,582	(25.3%) 41,423	(100.0%) 163,627

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(79.5%) 123,371	(9.1%) 14,068	(7.4%) 11,421	(2.5%) 3,948	(1.5%) 2,325	(20.5%) 31,764	(100.0%) 155,136

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。